

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	17	自然を守り、未来へと引き継ぐ	評価責任者 (基本施策主管課長)	環境政策課長 山下 豊
-------	----	----------------	---------------------	----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 継承 政 策	自然を守り、未来へとつなげるまちづくり
① 市民意識調査結果	<p>満足度</p> <p>2.86 3.3 2.55 3.86 4.86 1.8 必要度</p>	②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 アンケートの結果からは、満足度の割合が「普通である」が半数を占めている。しかし、必要度では、「どちらかといえば力を入れてほしい」と「力を入れてほしい」が半数以上を占めており施策に対し一層の期待が求められている。
③ 基本施策の現状と課題	市民に対し環境問題に対する意識の向上を図るため市内の学校や市民及び活動団体に対し環境学習や啓発活動を通し事業を行なっている。課題としては、市民の参加者が固定されている。環境セミナーの開催回数を増やし広く参加者を募る必要がある。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	市民が環境保全に取り組むためには、環境に対する関心度を高める必要がある。今後は、インターネットやケーブルテレビ、広報紙を通じ情報発信を積極的に行い広く環境学習の場を広める。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
環境学習の場	環境セミナーの開催数	1

基本施策指標名	単 位	過年度実績		評価年度	目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21		H22	H25	H30		
1 環境セミナー開催数	目 標	回	2	2	3	4	4	環境意識の向上を目指すため開催回数を指標とした。	
	実 績	回	2	1					
	達成率	%	100.0	50.0					
	目 標								
	実 績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目 標								
	実 績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
	目 標								
	実 績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事 業 名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			重点化	
				H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額		
1	生活環境部 環境政策課	153	環境セミナー開催事業		3,172	3,250	3,250	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（以下 続紙）								
事業費 合計					3,172	3,250	3,250	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
環境ツアー	市・環境保全市民会議	環境保全に取り組むため市事業の不足を補う

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	環境セミナーの参加者数が目標を大きく下回っている。開催回数を増やしながらく市民の参加を促す。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	手段として参加者が増加することが適正であるが市民に広く積極的な周知が必要である。
3 役割分担の妥当性	環境セミナーについては、環境意識を促すため市主催で取り組んでいるが環境活動団体との協力により一層の環境意識の向上が図れるため関係団体と協議し協力を求める。
4 総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	広く市民に環境問題を広めるためにも環境セミナーによる開催回数の増やそれぞれの学習での参加者を積極的に啓発する。